

笑顔あふれる学校・家庭・町

毎日子どもたちの笑顔を見ていると、こちら思わず微笑んでしまいます。朝登校してきた子どもが、仲良しの友達を見つけると「おはよう」と声をかけ、どちらの子どもも笑顔になります。笑顔は、伝染します。笑顔があふれる学校は素晴らしいかと、強く思います。

ただ、いつもニコニコしている子どもばかりではありません。学習や様々な活動にチャレンジして厳しい顔をしている子ども、友だちとうまくいかなかったり、先生に注意されたりして悲しい表情になってしまう子どももいます。しかし、どの表情も、その後の輝く笑顔のためのステップにしなければなりません。そのための手助けができるのが、教職員、ご家族、地域の皆様だと思います。また、子ども自身が、心を落ち着かせたり、気持ちを切り替えたりするスキルを身に付けることも必要かもしれません。

① 1日の始まりは笑顔・・・登校時間が遅い子どもは元気がない傾向がみられます

○まずは、早寝・早起き・朝ごはん、気持ちの良いスタートをきりましょう。

○ちょっと早く起きて、余裕を習慣を身に付けましょう。

② アンガーマネジメント・・・家族一緒に、感情をコントロールしましょう。怒り(アンガー)をコントロールすると、一説では寿命が7年延びるそうです。

○負の感情の中でも怒りはコントロールしやすい感情です。コツは①6秒間我慢すれば治まりやすい②不要な「～べき」はなくす③しょうがないことは割り切る ことです。

6・7月の

キーム学校

○学校評議員会を開き、地域の代表の皆様にご理解をいただき、助言を得る。

○民生児童委員の皆様のご協力により、隔週月曜日に、あいさつ運動を行っていただく。

○PTAのご協力により、水泳時の見守りを願います。

○ホームページにより学校の様子をできるだけ多く発信し、共通理解して教育を行う。

よりそう学校

○二者面談を行い、学校での児童の様子を知ってもらうとともに、保護者様のお話を聞き、協力して教育を行えるようにする。

○二者面談での大事な情報は、校内で共有し、学校全体で活用できるようにする。

○児童集会の中で全校集会を縦割り班で行い、全校児童が仲良くなるとともに、児童主体の集会にして自治能力を高める。

おこしやすい学校

○大雨、洪水などの災害情報を確実に共有し、児童の登下校が安心安全にできるように、「すぐー」等で発信する。

○熱中症や雷などに気を付け、体育の時間をはじめ、学校生活が安全にできるようにする。

○自転車教室、交通安全教室、避難訓練など児童の安全を守る行事を行う。

